愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	渡辺 弥生	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

総合演習Ⅱでは、保健や看護など健康に関する具体的なセルフケアについての知識と技術を深める。現代の健康は自分自身で守っていく必要がある。ヘルスプロモーション、セルフケアの知識や技術が重要である。そのため自分自身、小児に対しての健康対策、成人、高齢者に対しての健康対策など実際に健康維持のため行うべきケアの知識を得て、具体的に実践する方法を学び、技術の習得を目指す。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	講義、グループワーク，デイスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	コミュニケーションの重要性を学ぶ。また自分たちがどのような学びをしていきたいのか希望を話し合う。	□
第2回	家族による看護や介護の役割ケアについて考える。	グループワークにより高齢者のフレイル予防を念頭にセルフケアについて看護の視点、介護の実際学ぶ	□
第3回	家族による育児について考える。	グループワークにより育児について学ぶ。	□
第4回	成人の健康問題について考える。	生活習慣病やフレイルや認知症予防など課題をしぼりセルフケアの指導を考える。	□
第5回	各グループで学んだ課題からケアの実践を行う準備をする。	各グループが健康指導や高齢者のケア、育児のケアをデモンストレーションする準備を行う（例　高齢者の運動　新生児の沐浴等）	□
第6回	成人、小児、高齢者の健康問題からケアの実践を行う①	グループワークを行う。各期の健康問題に着目し、指導する目的で学びの項目を検討し、指導案を考える。	□
第7回	成人、小児、老年の健康問題からケアの実践を学ぶ②	グループワークを行う。各期の健康問題に着目し、指導する目的で学びの項目を検討し、指導案を考える。	□
第8回	各グループで決めた項目の指導内容を健康実践演習で展開する（時期確認）①	例　認知症高齢者の家族に対しコミュニケーション方法を伝える。	□
第9回	各グループで決めた項目の指導内容を健康実践演習で展開する（時期確認）②	例　育児指導　小児の発達に応じたケア	□
第10回	指導内容の振り返り	意見交換	□
第11回	総合演習での学びの確認　文章化する。（レポート）	各ライフサイクルの課題を理解し、どんなことが重要か、また受けた方はどうだったのか意見交換する。	□
第12回	今後に向けて課題を見つけ文献を検索し要約し、意見交換する。①	キーワードを自分なりに見つけ文献の検索方法を実施、理解する。	□
第13回	今後に向けて課題を見つけ文献を検索し要約し、意見交換する。②	学びをプレゼンテーションする。	□
第14回	今後に向けて課題を見つけ文献を検索し要約し、意見交換する。③	学びをプレゼンテーションする。	□
第15回	総合演習Ⅰのまとめ、総括	文献紹介と 前期の振り返り	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業前には、1週前に出されたテーマに沿って下調べをしておく。（2時間） 授業内のキーワードに沿って調べたことをまとめておく。次週発言や質問ができるようにする。（2時間）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題は発表後ディスカッションを通してフィードバックする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	家族への看護、介護の重要性や目的、観察の視点、知識を理解する。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	自分の学びを他者に伝え、さらに技術を習得し友人同士で実践する。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	自ら文献などを調べ学び表現することを積極的な行動や発言で示していく。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業への参加姿勢（積極性、発言、協力）発表の内容、方法、レポート等

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	適宜紹介する	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	適宜紹介する	
2		
3		
4		
5		